

2025年7月16日

報道関係各位

一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ

**ミネルバ大学とブルーオーシャン・イニシアチブがインターンシップ連携を推進
2025年度のサステナビリティ研究プログラムにおいて、ブルーオーシャン・イニシアチブと
その会員メンバーが学生たちと共に、海洋課題の解決に向けて取り組みます。**

2022年12月に発足した「海の保全と繁栄」の社会課題解決を目指す企業連合である一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ(事務局:東京都港区、代表理事 代島裕世)は、アメリカのミネルバ大学(カリフォルニア州、学長 マイク・マギー)と一般社団法人ミネルバジャパン(代表 坂江裕美)の3者間で、2025年度の日本でのサステナビリティ研究プログラムでの、インターンシップ連携を推進致します。

ミネルバ大学は、特定のキャンパスを持たず、4年間で8都市を巡るグローバルモビリティ型学習を採用。産業界・スタートアップ企業・NPO・自治体と連携したプロジェクト型学習を通じて、単なる「国際化」ではなく、「多拠点で実践するグローバル課題解決型人材」を育成する教育機関です。

産官学民金の各フィールドから100を超える企業・団体・自治体のメンバーが集う海洋課題解決を目指す共創アクションプラットフォームであるブルーオーシャン・イニシアチブと、2022年より4年連続で、世界で最もイノベティブな大学に国連関連機関より選出されているミネルバ大学が、2025年度のサステナビリティ研究プログラムにおいて、インターンシップ連携を通じて、日本における海洋課題解決に取り組みます。

ブルーオーシャン・イニシアチブとその会員メンバーがメンターとなり、学生たちの研究に対して実業を通じた知見の共有、アイデア創出のディスカッションでサポートします。

■ミネルバ大学について

ミネルバ大学は、学問の枠を超えて、思考力だけでなく、実践力や他者を巻き込むリーダーシップを育むことを目的とした教育機関です。全カリキュラムは認知科学・心理学に基づいて設計されており、学生は日々の授業を通じて、自ら問いを立て、論理的に考え、異なる価値観を持つ他者対話・協働しながら、複雑な課題に取り組む力を磨いていきます。こうした力を、多様な文化や社会の中で実際に活かすことにより、変化の激しい時代をしなやかに生き抜くグローバルリーダーを育成しています。

■ブルーオーシャン・イニシアチブについて

「海」に関わる産官学民金のあらゆるステークホルダーの多面的交流と事業共創を通じ、持続性・実効性ある「海の保全と繁栄」を両立した社会課題解決を目指す事業共創のブルーアクション・プラットフォームです。

企業の新事業開発セクション、スタートアップ、投資家や財団、研究者、NGO・NPO、行政のリーダーなどが一同

に集い、海洋課題解決に向けた創発的な交流や共同研究、イベントの開催、ネットワーキング、新規プロジェクトの組成を行います。関連省庁、関連団体等とも連携し、様々なステークホルダーに対し幅広い参加要請を行うとともに、2030年SDGsゴール達成への貢献を目指します。

■活動テーマ

海洋プラスチック削減

- 海へのプラごみ流出の抑止
- 効率的な海洋プラ回収方法の確立
- 再資源アップサイクルの定着化

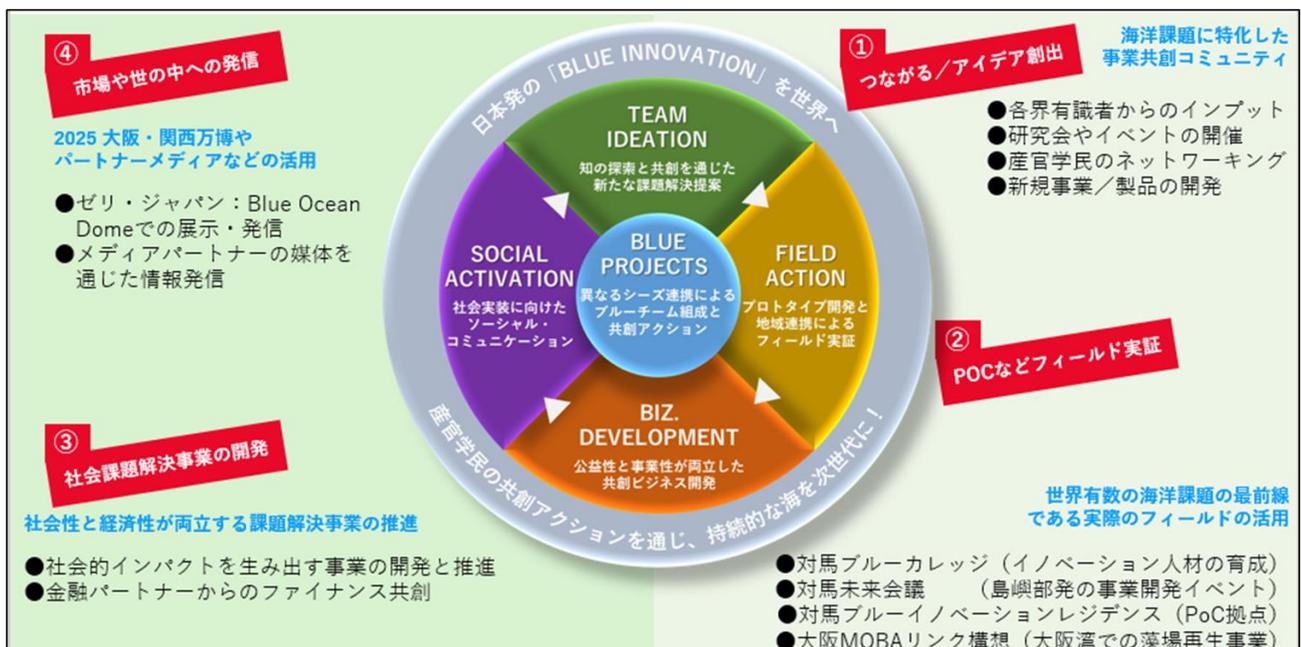
海洋資源保全と海産業活性化

- サステナブル・フィッシング
- マリン・フード・イノベーション
- 新たな「海業」の創出

海洋と気候変動対応

- ブルーカーボン・クレジットの推進
- 再エネルギーの推進と基盤整備
- 海運の脱炭素化とイノベーション

■活動サイクル



■参加メンバー

企業新規事業リーダー

スタートアップ創業者

社会起業家

投資家・財団

研究者・アカデミア

NGO・NPO

漁業リーダー

行政リーダー

■会員・連携パートナー 一覧(2025年7月16日時点 106社・団体)

こちらのサイトをご参照ください。 <https://blueocean-initiative.or.jp/about/>

【ブルーオーシャン・イニシアチブに関する個別取材の問い合わせ】

一般社団法人 ブルーオーシャン・イニシアチブ 事務局 担当:代島・河野
〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目2番15号 浜松町ダイヤビル 2F
MAIL:info@blueocean-initiative.or.jp

<一般社団法人 ブルーオーシャン・イニシアチブ 補足資料>

■一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ ホームページ



<https://blueocean-initiative.or.jp/>